



組織の概要

- 設立
 - 1999年9月
- 法人認証
 - 2012年1月
- 目的
 - 竹林の保全と活用を推進
 - 竹が彩る暮らしと文化の創造
- 会員数
 - 約220名 (2012年12月現在)
- 年間活動日数
 - 120日

7つの大きな活動

・・・竹林の保全と活用、都市・農村交流を通じた竹林の再生などをテーマに多面的に活動して、竹林の再生と竹文化の普及に取り組んでいます・・・

その1 竹林の里親制度

荒廃した竹林を地主さんに代わり、市民が里親になって竹林を再生する保全システム

「竹林の里親制度」のフィールド

その2 竹取協力隊

ボランティアで竹林の保全活動を実践する 現代版「竹取り物語」



その3 竹の学校 - 1

竹林管理コース

▲セミナー 実習▶

その3 竹の学校 - 2

竹工芸コース

▲竹かご作り ▼竹皮ぞうり作り

その3 竹の学校 - 3

筍料理コース

その3 竹の学校 - 4

その4 出前講座

自然体験、環境学習、余暇活動をサポートします

- 竹に関連した講座やイベントの講師を派遣
- 派遣先
 - 学校
 - 生涯学習センター
 - 市民団体
 - NPO
 - 企業
 - etc



その4 出前講座



その4 出前講座



その5 協働事業

主な協働事業の内容

- 小机城址市民の森の保全 [港北区役所・緑政局](#)
- 都筑区の竹林の保全 [緑政局](#)
- あしがら竹林再生事業
[神奈川県、南足柄市、三竹の竹林を考える会](#)
- 竹の学校の運営 受付の分担等 [港北区役所](#)
- 小机城址市民の森竹灯籠まつり
[港北区役所・緑政局](#) ・地域等
- 横浜国際プール林浴の庭竹林 [横浜市](#)
- 中井町半分形地区竹林保全 [神奈川県、中井町](#)
- こどもの国竹林保全 [社会福祉法人 こどもの国協会](#)
- 伊豆の国市韮山地区竹林保全
[伊豆の国市、静岡県、地域NPO](#)

行政との連携

- 連携の内容
 - ・ フィールドの確保
 - ・ ネットワーク情報
 - ・ 道具の支援
 - ・ 事業の実施



小机城址市民の森 「竹の小径」作り

その5 協働事業-2

横浜美術館とのコラボレーション



中井町竹林での竹の切り出し



竹水の関

その6 都市農村交流-1

都市住民と地域の交流を通して竹林再生プロジェクトの推進

- 中井町・愛川町・伊豆の国市での取り組み
 - 竹林間伐とみかん狩りなどの組合せ（グリーンツーリズム）
 - 地域通貨「竹」
 - 地元農産物の直販
 - バーベキュー
 - 温泉湯治
 - イベント

その6 都市農村交流-2

- 地元農家の方による直販コーナー



その6 都市農村交流

（グリーンツーリズム）

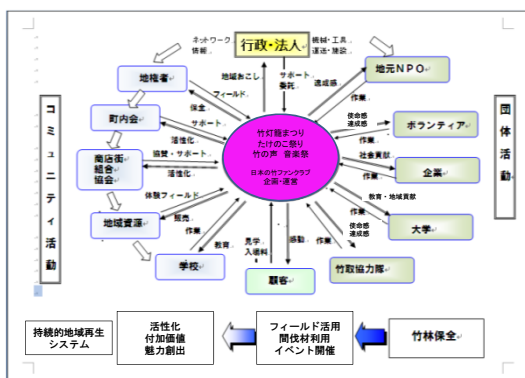


その7 竹林を活用したまちづくり

竹灯籠まつり・たけのこ祭り

- **定期的なイベントの開催は竹林の再生と地域の活性化という二つのメリットを生んでいます。**
- イベントは神奈川県横浜市3ヶ所、中井町、愛川町、静岡県伊豆の国市の6ヶ所で行われています。

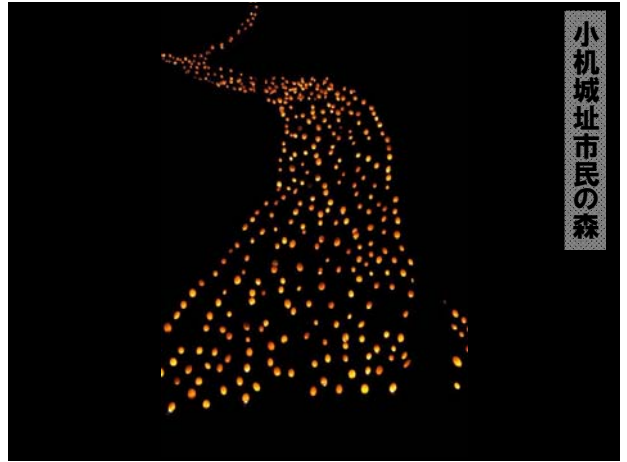
多様な主体と連携したイベントの仕組み



小机城址市民の森



小机城址市民の森



小机城址市民の森



小机城址市民の森



横浜国際プール



横浜国際プール



横浜国際プール





韮山竹灯籠まつり

竹のチップ化

チップパーにより竹チップ化

竹チップの敷き詰められた足に優しい小径

竹灯籠が日本の竹林を救う？

何千本もの竹灯籠は幻想的で、見る人を楽しませますが、加えて竹灯籠祭りは竹林の再生と地域の活性化という二つのメリットを持っています。

竹灯籠祭りは、山梨県内の各自治体（韮山町、大井町、山梨市、甲斐市、山梨県立中央大学）などで竹灯籠まつりが開催されています。

- 沢山の竹材を使う
竹灯籠祭りには大量の竹材が必要なため、これまで野積みするしかなかった竹の利用が進みます。
- 竹林の間伐が進む
定期的にお祭りをすることで、竹林の間伐が進み、竹林の再生が約束されます。
- 多様な市民が主役になれる
竹灯籠の製作にはさまざまな工程があり、多様な形で市民が祭りに関わることが出来ます。
- 地域の活性化に寄与
竹灯籠祭りに大勢の市民を呼ぶことが出来、地域の活性化につながります。



中井たけのご祭り

中井たけのご祭り

中井たけのご祭り



中井たけのご祭り



中井町たけのご祭り



中井町たけのご祭り



小机たけのご祭り



小机たけのご祭り



よこはま竹の声音楽祭 2013



楽器作り



演奏練習

よこはま竹の声音楽祭 2013



音楽祭当日

1.連携の進め方

連携先の課題と活動プログラム

連携先の課題

行政・施設

- 放置竹林
- コミュニティの再生
- 遊休資源の再生と活用

大学・企業

- 地域貢献
- 社会体験・貢献
- 社員教育

NPO・市民

- 社会貢献
- 上位目標の達成
- 生きがいつくり
- 居場所づくり

日本の竹ファンクラブの活動プログラム

- **竹林の里親制度を通じた竹林整備**
- **イベントを活用した持続的な竹林再生**
- **竹林の魅力創出と付加価値化による地域再生**

2.連携の成果

経営資源の拡大

- フィールド**6か所**
- 竹林契約者**50人**プラス**3施設**
- 竹林管理面積**12万㎡**
- 年間作業参加者**2000人**

イベントを活用したまちづくり

- たくさんの間伐材を使う…
竹1700本、竹灯籠2万2千個
- 間伐・間引きが進む…**12ha**
- 多様な市民が主役になれる…**地域との連携**
- 地域の活性化に寄与…**2万8千人参加**

地産地消型 地域再生システムの確立

- 竹林保全…放置竹林
- ↓
- 間伐材の利用…イベント
- ↓
- 地域の魅力創出 …活性化、付加価値化
- ↓
- 地域再生…持続可能な循環型社会の形成

3.終わりに

厄介者の竹林を宝物に変身し

人も地域も地球も元気にする

